

新型コロナ、福島県内献血ピンチ 感染拡大、目標量下回る日続く

8/14 福島民友

新型コロナウイルス感染拡大の影響で県内の献血者が減少し、医療現場から懸念が出ている。県赤十字血液センター（福島市）によると、8月に入って低調な日が続き、目標の血液量に届かない可能性があるという。輸血用血液は有効期間があるため、斎藤年光献血推進課長は「患者の命を守るためにも安定的に供給しなければならず、厳しい状況だ」と危機感を募らせる。

同センターによると、血液量は9日現在で目標より181単位（3万6200ミリリットル。1単位200ミリリットル）足りない状況という。特に県内に3カ所ある献血ルームは献血者が少なく、1日当たりの目標量を10%以上下回る日が続いている。

コロナ禍以降は感染者数の急増に伴い、市民が外出を控え、献血に訪れる人の数が減る傾向にあり、過去最多の感染者数を更新している現在の流行「第7波」の影響が際立っている。

献血バスの派遣は、企業などの協力でおおむね目標量を達成できるという安定感が強みだ。しかし、お盆は献血バスの運用機会が少なくなるため、不足分を補う必要がある。同センターは商業施設などで街頭献血を行う予定だが、一定の献血者数は見込めないという。献血会場では手指消毒や換気などの感染対策を講じている。献血者が集中しないよう、電話や献血者向けウェブ会員サービス「ラブラッド」での事前予約も可能だ。斎藤課長は「患者の命を守るため、多くの人たちに協力をお願いしたい」と呼びかけている。

今日のyoutube紹介下線をクリック

● コロナワクチン 子どもの接種9月にも「努力義務」へ

<https://news.yahoo.co.jp/articles/21f72e020d1d70b1f88ba88c2d5b3136c8222732>

● 3歳息子がコロナでも陰性で乗り切った医師の秘訣「隔離は諦めた」「大人が飛沫を吸い込まない」

<https://news.yahoo.co.jp/articles/d7224ed6f17ff7e8b3bbb507215e9008b038694b>

● 3年ぶり行動制限のない“お盆”「地元にいるのに地元にはいないみたい」帰省中に家族が感染で急きょホテル暮らしに

<https://news.yahoo.co.jp/articles/b860aceac29e08159a0f2787ce44a4e4414724a4>

● 陰性だったのに…旅先の離島で「陽性」に お盆休み“PCR検査ラッシュ”その後は

<https://news.yahoo.co.jp/articles/6a5f0332a4dc77ef19be5f39e23ea872fc6fbf3e>

● 【大石が深掘り解説】なぜ息子は死亡したのか？ワクチン接種後の状況を両親が告白

<https://www.youtube.com/watch?v=e8gGvRV7eWk>

● 第7波で新規陽性者が過去最多の中、ワクチン接種の最新のメリットとデメリットは？

<https://www.youtube.com/watch?v=Ap6gXFhfcPo>

● 今、一度考えるべきワクチン4回目接種の必要性。感染症法の見直し。古舘が思う過去最強の広がり第7波。

<https://www.youtube.com/watch?v=wC5TcaUuBic>

今日のPDF紹介下線をクリック

● 「全然理解されない」「なんで俺だけ」親も気づきにくい子どもの“コロナ後遺症”

● コロナ治療はカオスに、「とりあえず薬」は適切か？岸田政権最大の「失政」は…

● 81人受診、陽性率6割台／青森市医師会・臨時発熱外来初日 町田医師「期待の大きさ感じた」